

道教關係著書論文目録

2019（平成31・令和元）年

森 由 利 亞 編

前 言

1. 本目録には、2019年1月から12月までの期間にわが國で刊行された、道教及びその周邊領域に關する著書・論文・書評等を收める。
2. 雑誌等に掲載された譯注類は「II. 論文」に、學會報告等については「III. 書評等」に、それぞれ收める。
3. 掲載順は執筆者姓の第一字の日本語漢字音順とする。執筆者名がアルファベット表記の場合はI・II・IIIそれぞれにおいて漢字假名表記による執筆者を載せた後にアルファベット順に記す。複数名による執筆の場合は、第一執筆者に準據する。中國人名・韓國人名の場合も日本語音に統一する。
4. 連名による「譯注」等の場合は、第一執筆者の姓名の後にのみ「譯注」等と記す。
5. 本誌の過年號「目録」で掲載されたことのある執筆者の場合は、對象領域が些か外れている場合でも敢えて掲載したものがある。
6. 十分な注意の下に作業を進めたつもりではあるが、誤脱も少なくないと思われる。お気づきの點をご教示頂ければ幸いである。

I. 單行本

| | |
|----------|--|
| 池田 知久 | 老子：全譯注 講談社 |
| 名和 敏光〔編〕 | 東アジア思想・文化の基層構造：術數と『天地瑞祥志』 汲古書院 |
| 林 佳恵 | 六朝江南道教の研究：陸修靜の靈寶經觀と古靈寶經 早稻田大學出版部 |
| 堀池 信夫 | 老子注釋史の研究（櫻邑文稿1） 明治書院 |
| 松下 道信 | 宋金元道教内丹思想研究 汲古書院 |
| 横手 裕〔編〕 | 宮内廳書陵部所藏道藏經目錄稿 2014～2018年度科研費基(A)研究成果報告書 |

- II. 論文
- 青木 美樹 臺灣の民間信仰・行事 『アジア共生學會年報』 15
- 有馬 卓也 『淮南萬畢術』 拾遺(7) 『東洋古典學研究』 48
- 井上 智勝 近世ベトナムにおける人鬼の神格化：『南越神祇會錄』『大南一統志』を主な素材として 『埼玉大學紀要・教養學部』 55(1)
- 伊藤 敬 老莊の論理で顯わすウパニシャッド：西田幾多郎の思想 『唯物論と現代』 60
- 伊藤 眞 今日臺灣における地藏信仰の一側面：『占察經』を中心に 『東洋學研究』 56
- 伊藤玲阿奈 『莊子』齊物論篇における天籟問答の總合的讀解：「天」の思想、老莊の「道」、そして莊子の認識論的形而上學 『武藏野短期大學研究紀要』 33
- 池田 知久 『禮記』大學篇「八條目」と『管子』牧民篇と『老子』第五十四章：全「天下」政治秩序の構想における封建と郡縣との對立 『斯文』 134
- 彌永 信美 インド、中國、日本における憑靈信仰をめぐる：雜密文獻の世界への入り口として 『日本古寫經研究所研究紀要』 4
- 薄井 俊二 徐霞客遊記の基礎的研究(七)：事類篇・洞(その5)、全行程(その6)、埼玉大學圖書館藏「徐霞客」關連文獻目錄稿(2) 『埼玉大學紀要・教育學部』 68(2)
- 薄井 俊二 徐霞客遊記の基礎的研究(六)：事類篇・洞(その4)、全行程(その5)、埼玉大學圖書館藏「徐霞客」關連文獻目錄稿(1) 『埼玉大學紀要・教育學部』 68(1)
- 浦山 きか 『醫心方』の構成と養生思想 『日本健康學會誌』 85(1)
- 小俣喜久雄 臺灣鄭成功主神廟緣起補遺及び鄭成功配神廟 (東洋大學) 『大學院紀要』 56(文・日本文學文化)
- 王 海翠 豚の頭の供物から見る中國農村の民俗信仰：唐莊村を中心に 『比較民俗研究』 33
- 王 中江 (吉田薰譯) 「道」と「萬物」の三重關係：老子の世界觀における全體構造(後篇) 『國文目白』 58
- 大形 徹 字說 醫について 『漢字學研究』 7
- 奥野 繁生 杏林春秋 脾陰の系譜：脾陰虛を學ぶために 『中醫臨床』 40(4)
- 郝 雅楠 復興する道教：北京市H道觀をめぐる若干の考察 『知性と創造：日中學者の思考』

- 神塚 淑子 『坐忘論』成立前史：六朝隋唐道教における心齋坐忘とその周邊 『東方學』138
- 川野 明正 街巷空間を守る廈門の獅子神「石獅公」：シナ海石造獅子・狗犬文化圏の比較研究(3) 『明治大學教養論集』541
- 川野 明正 雲南・四川南部の漢族・非漢民族の漢字文藝と文字信仰：中華圏周縁部の對聯と惜字爐「字庫塔」 『アジア遊學』231
- 祁 慧軍
孫 曉晨 “燒大牛”：膠東孫贖信仰習俗調査與研究 『ICCS 現代中國學ジャーナル』11(2)
- 菊地 章太 世變經成立年代考 『東洋學研究』56
- 許 曉璐 漢代『太平經』における天人關係について 『北九州市立大學大學院紀要』32
- 龔 麗璇 『老子本義』から見る魏源の「救世」思想 『茨城大學大學院人文社會科學研究科院生論集』3
- 金 龍哲 中國西南における文化的多様性と少数民族の信仰體系の現状：土着信仰の宗教的職能者の後繼者問題を中心に 『教育學研究紀要』65(1)
- 邢 光大 實踐に巻き込まれる知的斷片：中國梅州市小桑村の公王爺信仰における「多元一體」現象より 『比較民俗研究』33
- 小林 隆道 宋元時代の伯夷叔齊廟への加封と文書保管：首陽山二賢廟を中心に 『史學研究』984
- 古勝 隆一 魏晉『莊子』注釋史における郭象の位置 『東方學報』94
- 佐々木 聰 中國古代・中世の鬼神と自然觀：「自然の怪」をめぐる社會史 『アジア遊學』239
- 蔡 福松
(澁谷裕子譯) 澎湖諸島における宮廟信仰の價值と現代社會における役割について 『人文社會科學研究』59
- 齋藤 正憲 童乩と扶鸞：臺灣のシャーマニズム 『埼玉學園大學紀要・人間學部篇』19
- 齋藤 龍一 唐時代における石造道教像の研究：老君・天尊像を中心に 『國華』124(12)
- 酒井 恵子 元代の宗教と知識人 『三重大史學』19
- 澤田多喜二 四川省南部の元代の三間堂：中國西南地方の寺廟建築の研究
曹 毅 10 『建築歴史・意匠』(2019)
- 張 葉茜
杉野 丞
- ジョンソン イアン 北京の宗教政策の意圖：宗教・政治・社會のハイブリッドイデオロギー（中國的擴大主義の特質） Foreign affairs report 2019(2)

- 鈴木 健郎 日本の上嶽信仰と温泉 『専修大學社會科學研究所月報』671
鈴木 達明 「莊騷」の誕生：韓愈における文學としての『莊子』の受容
—— 『東洋史研究』78-1
- 菅原 壽清 中國雲南のシャーマニズム研究：エリアーデのシャーマニズ
ム論とその再検討(その2) 『アジア民族文化研究』18
- 菅原 壽清 シャーマニズム研究の現在：日本と雲南の調査研究を手掛かり
として 『成城大學社會イノベーション研究』14(2)
- 石 瑩 九鬼周造の「自然」思想に關する一考察：老莊思想との比較
を通して 『比較思想研究』46
- 善養寺淳一 都良香の神仙思想について：『本朝文粹』所收對策「神仙」
の考察を通して 『國文學試論』28
- 曹 毅 四川省元・明代の吹放附三間堂について：中國西南地方の寺
杉野 丞 廟建築の研究9 『建築歴史・匠意』(2019)
澤田多喜二
- 曹 毅 四川省遂寧市の明代の三間佛堂について：中國西南地方の寺
杉野 丞 廟建築の研究(8) 『東海支部研究報告集』57
澤田多喜二
- 曹 景恵 無住と『老子』 『日本文學研究ジャーナル』10
- 曹 紅宇 中國におけるシャーマニズム研究と苗族社會における宗教的
職能者：中國貴州省黔東南州施洞鎮のゴウハンハンを事例に
『やまぐち地域社會研究』16
- 孫 凱 中國閩南地方における開漳聖王信仰の觀光活用：漳州市の威
孫 瑾 惠廟を事例として 『觀光學論集』14
- 魏晉六朝から初唐に至る病氣知識の變動の一面：「鬼交」と
「注」を通して 『東洋古典學研究』47
- 田中 文雄 慈雲と神道灌頂 『皇學館大學研究開發推進センター紀要』
5
- 貴家 勝宏 クローバル化と中國の宗教變動：中國化とグローバル化の相
谷口 滿 克 『東海大學紀要・教養學部』49
- 續・中國鹽神廟訪問記：2018年：雲南省大姚縣石羊鎮・祿豐
縣黑井鎮 『日中韓周緣域の宗教文化』5
- 張 振 康 10-13世紀廣州における南海神廟・南海神信仰研究の現状と
課題 『人文研究：大阪市立大學大学院文學研究科紀要』70
- 張 楠 『源氏物語』における主要な人物の命名について：道家文化
とのかかわりを中心に 『札幌大學総合研究』11
- 趙 軍 西洋背景下の遠藤隆吉の老子研究：西洋經驗と近代日中交流
における思想連鎖の一側面 『千葉商大紀要』57(2)

- 都通憲三朗 『津門保甲圖説』にみえる清代後期天津の寺廟について 『佛教經濟研究』48
- 辻 拓朗 浙江省における洞天福地の内部と周邊及び道士の現状の調査報告 『洞天福地研究』(9)
- 土屋 昌明 [研究ノート] 玄宗の道教と楊貴妃そして日本：雷聞氏の研究をめぐる 『洞天福地研究』(9)
- 土屋 昌明 洞天思想と謝靈運 『アジア遊學』240
- 騰 興建 中國宗教之鬼神及法術 『愛知論叢』106
- 中島 慧 日本における「忍者」のイメージ形成と定着一神仙道教要素のフィクションにおける受容と展開 『言語と文明』18 (1)
- 中塚 亮 地方劇における『封神演義』および聞仲像の展開 『日本中國學會報』71
- 二階堂善弘 妙見・鎮宅靈符神と玄天上帝 『皇學館大學研究開發推進センター紀要』5
- 二階堂善弘 二十四諸天における佛道習合について 『日本中國學會報』71
- 二階堂善弘 シンガポール華人廟におけるヒンドゥー神の習合 『東アジア文化交渉研究』12
- 西卷 昭彦 道教にみる叩齒 『日本齒科醫史學會々誌』33(2)
- 馬 叢慧 『莊子』を通じて讀む「賣茶口占十二首」 『下關市立大學論集』63(2)
- 廣瀬 直記 二許と洞天 『洞天福地研究』(9)
- 廣瀬 直記 「茅君内傳」譯注研究(一) 『洞天福地研究』(9)
- 廣田 律子 ミエン・ヤオ族還家願儀禮における女性歌手と歌書の傳承 『東アジア比較文化研究』18
- 廣田 律子 ミエン・ヤオ族の淨化儀禮に関する研究：道教・法教儀禮との比較から 『成城大學社會イノベーション研究』14 (2)
- 藤崎 康彦 臺灣の「環保祭祀」と民俗宗教：寺廟編 『跡見學園女子大學文學部紀要』54
- 藤崎 康彦 臺灣の寺廟に見る諸變化管見：三十年の間隔を以てのノート 『跡見學園女子大學人文學フォーラム』17
- 前田 宏樹 先秦の道家の著作意識について：「謂」と指示代名詞で構成される表現を軸に 『和漢語文研究』17
- 松浦 史子 敦煌佛爺廟灣墓に表された人面魚・飛魚の世界：晉・前涼の『山海經』受容と西北認識 『鹿島美術財團年報』37

- 松下 道信
二階堂善弘
三浦 國雄
田中 文雄
松下 道信
- 神道における道教受容研究の現在 『皇學館大學研究開發推進センター紀要』 5
- 三浦 國雄
三浦 國雄
- 金代の道教：「新道教」を越えて：金・女眞の歴史とユーラシア東方(金代の社會・文化・言語) 『アジア遊學』 233
- 墓室から洞天へ：死から再生への巡禮 『洞天福地研究』 (9)
- 吉田神道と『北斗本命延生經』 『皇學館大學研究開發推進センター紀要』 5
- 水口 拓壽
- 陰宅風水の「發見」と死者認識：司馬光・程頤・朱熹を中心とする考察 『中國：社會と文化』 34
- 森 和也
矢島明希子
- 神・儒・佛と日本人(30)：江戸の道家 『大法輪』 86(11)
- 中國古代の夜について：人間の活動と鬼神の出現 『東洋史研究』 78(2)
- 山下 一夫
山下 一夫
山田 俊
- 臺灣皮影戲『蘇雲』考 『中國都市藝能研究』 18
- 中國の影繪人形劇の「傳統」と「近代」 『アジア遊學』 232
- 『元始天尊說生天得道經』と「佛道圖文碑」「霍習墓幢」：宋金元三朝道教の歴史性と地域性問題 『熊本縣立大學大學院文學研究科論集』 12
- 游 舒婷
- 植民地初期臺灣民衆生活における宗教者の存在と社會的地位：僧侶・道士・巫覡・術士といった職業者を中心に 『非文字資料研究』 17
- 熊 奕淞
- 『恆先』再考：「自生」の宇宙生成論を中心に 『東洋古典學研究』 47
- 横山 裕
- 法家思想からみた「道は法を生ず」の理論構造について：『馬王堆漢墓帛書老子乙本卷前古佚書』を中心にして 『九州中國學會報』 57
- 雷 聞
(土屋昌明譯)
- 貴妃の師：新出『景龍觀威儀田價墓誌』に見える盛唐道教 『洞天福地研究』 (9)
- 李 豐楙
(酒井規史譯)
- 李豐楙教授の學術總括講演全文 『洞天福地研究』 (9)
- 李 零
(大野裕司譯)
- 占卜方法の數字化よりみた陰陽五行説の起源 『中國哲學』 47
- 李 麗
- 陳元贊の「天心聖心一致」論：『老子經通考』第五章に見える『老子處齋口義』批判を中心に 『名古屋大學中國哲學論集』 18

- 劉 洋 『梅月堂集』に見える朝鮮半島の内丹術 『東アジア文化交渉研究』 12
- 林 生海 論敦煌本『十王圖』與北斗信仰 『敦煌寫本研究年報』 13
- BEAUD Sylvie 關索戲とは？ 中國の「人氣宗教」における人類學的事例研究 『帝京大學外國語外國文化』 10

III. 書評等

- 飯島 典子 志賀市子編 『潮州人——華人移民のエスニシティと文化をめぐる歴史人類學』 『文化人類學』 84(2)
- 梶丸 嶽 廣田律子編 『ミエン・ヤオの歌謠と儀禮』 『文化人類學』 84(1)
- 酒井 規史 「首屆洞天福地研究與保護國際學會學術檢討會」 參加報告記 『洞天福地研究』 (9)
- 志賀 市子 福浦厚子著 『都市の寺廟——シンガポールにおける神聖空間の人類學』 『文化人類學』 83(4)
- 塚瀬 進 上田貴子著 『奉天の近代——移民社會における商會・企業・善堂——』 『東洋史研究』 78-1
- 谷中 信一 王中江著/吉田薰譯 『簡帛文獻からみる初期道家思想の新展開』 『國文目白』 58
- 横手 裕 吉元昭治著 『圖説 道教醫學：東洋思想の淵源を學ぶ』 『日本醫史學雜誌』 65(3)
- 芳澤 元 原田正俊編 『宗教と儀禮の東アジア：交錯する儒教・佛教・道教』 『日本史研究』 680